

**第4回 町田市スポーツ推進審議会
議事要旨**

日 時 2018年11月19日(月) 18:30~20:30

場 所 町田市役所10階 10-2会議室

出席者

川崎 登志喜	委員(会長)	玉川大学教育学部 教授
宮崎 光次	委員	桜美林大学健康福祉学群長教授
永吉 英記	委員(職務代理)	国士舘大学体育学部准教授
山本 正実	委員	一般財団法人 町田市体育協会 理事長
岡田 栄	委員	町田市スポーツ推進委員
水野 洋子	委員	NPO 法人スポーツ塾 J. VIC 代表
北川 達三	委員	社会福祉法人賛育会第二清風園 施設長
坂井 早苗	委員	市民委員
三村 徹	委員	市民委員
大川 武司	委員	南中学校校長

欠席者

佐藤 正志	委員	町田商工会議所 専務理事
-------	----	--------------

事務局

文化スポーツ振興部長	能條 敏明
文化スポーツ振興部スポーツ振興課長	石田 一太郎
文化スポーツ振興部スポーツ振興課担当課長	渋谷 晴久
文化スポーツ振興部スポーツ振興課担当課長	伊奈 誠
文化スポーツ振興部スポーツ振興課担当係長	喜多 和則
文化スポーツ振興部スポーツ振興課担当係長	鈴木 朝子
文化スポーツ振興部スポーツ振興課主事	笹本 雄佐
文化スポーツ振興部スポーツ振興課主事	阿部 正宏
文化スポーツ振興部スポーツ振興課主事	佐藤 理子
文化スポーツ振興部スポーツ振興課主事	武藤 玲美

傍聴者 なし

議事

1. 開会
2. 議事
(1) 「(仮称) 町田市スポーツ推進計画 19-28 (案)」について
3. 事務局から
4. 閉会

配布資料

- ・資料1 第3回スポーツ推進審議会 議事要旨
- ・資料2 町田市スポーツ推進計画 19-28 計画の概要
- ・資料3 町田市スポーツ推進計画 19-28

議事要旨

1. 開会

事務局からあいさつが行われた。

2. 議事

(1) 「(仮称) 町田市スポーツ推進計画 19-28 (案)」について

事務局が資料2、3について説明を行った。

永吉委員 計画書本編のアンケートの結果は最新の数値なのか。

事務局 素案は、昨年度実施した調査結果をグラフ化している。今年度の調査結果は現在集計中であり、結果が出たら更新していく。

永吉委員 スポーツ実施率の目標値はどのような根拠で設定しているのか。

事務局 月に1～3日スポーツを実施している人の約半数が週1日以上実施した場合を想定して、設定した。

坂井委員 基本目標4で「地域活性化につながるスポーツ大会」が0となっているが、どういうことか。

事務局 今後「地域活性化につながる」という視点で各種スポーツ大会を分類していくことを考えている。現時点では該当する大会がないため0となっている。

北川委員 成果指標「する」「みる」「支える」に関わった市民の割合95.0%としているが、実現可能なのか。

事務局 アンケート結果の中間集計時点で94%ほどとなっている。今後スポーツの気運が高まることもふまえ、目標値を設定した。

永吉委員 スポーツ実施率は向上しているのか。

事務局 向上している。

川崎会長 素案P.30にある各主体の役割について、各委員に意見を伺いたい。

永吉委員 大学として、施設開放などどこまでできるかを考えていきたい。ここで記述されることへの評価やチェックはどのように進めていくのか。

川崎会長 その点も含めて考えていけるとよい。次回会議でこれまでの事業の評価を行う予定であるが、PDCAサイクルのあり方についても意見があると思う。

- 各委員の立場で、事務局案の表現について意見を伺いたい。
- 山本委員 アクションプランが示された際に、具体的に考えていきたい。
体育協会は競技中心に取り組んできたが、「みる」スポーツなど、今後はより広い視点でスポーツ推進に取り組んでいきたい。
- 岡田委員 放課後等子ども遊び場見守り事業「まちとも」を通した市内の小学校との連携や高齢者支援センターとの連携は重要だと考えている。
地域スポーツクラブの立ち上げに際して相談に乗れるとよいと考えたが、コミュニケーションを取れていない。情報共有の機会があるとよい。地域スポーツクラブ同士で情報を共有する機会はあるのか。
- 水野委員 他クラブもそうかもしれないが、年間の計画はあるものの、長期的な視点での計画はなかった。スポーツ推進計画に即して長期的な視点を共有する機会があるとよいと感じた。
- 北川委員 高齢者施設としての役割を果たすとともに、スポーツの場の提供や連携について考えていきたい。しかし、スポーツを推進するという視点では、ノウハウや余力がない。また、市の高齢者福祉課ともそういった話をできていない。庁内でも働きかけを行えるとよいと思う。
- 坂井委員 スポーツ教室に参加した後、団体活動に参加する時点で立ち止まる市民は多いと思う。スポーツを継続するしくみを考えていけるとよい。
- 大川委員 中学校の部活動では指導者の確保等の状況をふまえると特定の競技に絞られてしまう。この点は地域スポーツクラブと連携してクリアしていけるとよい。
中学校としては、スポーツをきれいにしない取組を充実していけるとよい。
- 宮崎委員 大学を拠点として地域の子どものスポーツを推進していくことは重要だと考えている。
このほか、大学としてできることを考えていきたい。
P. 30. 31 の文章は関係者と調整したうえでの内容となっているのか。
- 事務局 事務局案である。今後関係者間ですり合わせを行っていきたい。
- 永吉委員 オリンピック・パラリンピックのボランティアに参加する大学生に単位認定等の支援を行う予定である。登録者数を市に伝えることも可能である。市の取組に対するボランティアも、大学を通して募集することもできる。このほか、子どものスポーツ活動の支援、人材育成等においても大学として連携・協働できることがあると考えている。
- 川崎会長 アクションプランについて意見はあるか。
- 永吉委員 基本目標 1 の中で、健康に関する取組が少ないと感じた。2020 年に向けて、スポーツ施設の完全禁煙化等を盛り込んでもよいのではないか。また、計画の名称に「健康」と入れることは可能か。
みるスポーツに関しては、SNSを活用し、市民の個々の取組や活躍の状況を「見える化」を進めていくべきだと感じている。
- 事務局 健康づくりを主眼に置いた計画は庁内の別の部署で計画を策定しているため計画の名称に「健康」と入れるのは難しい。
- 川崎会長 計画の名称としては、事務局案である「町田市スポーツ推進計画 19-28」でよいか。
委員全員 問題ない。

3. 事務局から

次回審議会は2月で調整し、決定次第あらためて委員に連絡する。

4. 閉会

以上